

公共交通特定事業計画(駅舎、鉄道車両)

【特定旅客施設名:天王寺駅】

【事業者名 西日本旅客鉄道株式会社】

令和5年3月末現在

No	1. 整備項目	2. 整備内容	3. 整備目標時期	4. 現時点での整備状況	5. 今後の予定【着工予定、工期等】 (整備が完了していない場合のみ記入)	6. 基本構想策定後に実施した整備内容
駅舎	1	視覚障がい者誘導用ブロック	A	整備済		
	2	音案内	B	整備済		
	3	案内・誘導	①B ②A	①整備済 ②対応済		②異常時におけるご案内設備(大型PDP)を平成15年度に設置
	4	券売機	C	未整備	券売機の更新や券売機室の大改造等の工事に伴い、可能な限りの蹴込みを設けるように改良していく。 (中央北のみ蹴込みあり)	
	5	改札口	A	整備済		
	6	エレベーター	①A ②B	①整備済 ②公共用通路に接続することにより確保		
	7	階段	A	①整備済 ②整備済		
	8	ホームにおける列車の案内	B	整備済		
	9	車両とホームとの隙間・段差	①C ②A	①検討中 ②配備済	①については現在の技術水準や開発動向ならびに既存設備の更新時期等を勘案し、今後引き続き検討を進めていく。	
	10	ホームにおける安全対策	①A ②B ③B	①整備済 ②整備済 ③整備済		②平成24年度に内方線付き視覚障がい者用誘導ブロック整備済み
	11	トイレ	①A ②B	①整備済 ②整備済	②については設備更新時においても多機能化に努める。	
鉄道車両	12	車いすスペースの確保	B	順次整備 ※概ねの編成に設置	新造車両導入時は設置する。また、既存車両は可能な限り設置に努める。	
	13	行先等の案内表示装置	B	順次整備 ※概ねの編成に設置	新造車両導入時は設置する。また、既存車両は可能な限り設置に努める。	
	14	車両間の転落防止装置	B	順次整備 ※概ねの編成に設置	新造車両導入時は設置する。また、既存車両は可能な限り設置に努める。	

【3. 整備目標時期】

時期A 平成22年までに完了

時期B 平成22年までに完了は困難であるが、平成22年までに着手することを目標とし、可能な限り早期の完了をめざすもの。

時期C 現在の技術水準や開発動向ならびに既存設備の更新時期等を勘案した場合、平成22年以降に着手することを目標とし、今後引き続き検討を進めていくもの。

- この公共交通特定事業計画は、大阪市が独自の様式を定めたうえで各鉄道事業者等に提出を求め、ホームページ用に編集しています。
- 昨年度から変更した内容は赤字で記載しています。

公共交通特定事業計画(駅舎、鉄道車両)

【特定旅客施設名: 大阪阿部野橋】

【事業者名 近畿日本鉄道株式会社】

令和5年3月末現在

No	1. 整備項目	2. 整備内容	3. 整備目標時期	4. 現時点での整備状況	5. 今後の予定【着工予定、工期等】 (整備が完了していない場合のみ記入)	6. 基本構想策定後に実施した整備内容(H15.4~)
駅舎	1	視覚障がい者誘導用ブロック 車両の乗降口から公共通路までの移動動線上に敷設	A	整備済み	一部JIS不適合(駅改修、誘導ルート見直しの際に改修を進める)	平成16年度にトイレへの誘導、ES部の警告ブロック施工済み 平成24年度に内方線および一部ホーム柵設置・案内板設置に伴い一部ルート変更
	2	音案内	B	検討中	利用者の利便性及び、障がい者の方々の意見を踏まえながら、国や自治体等の動向を考慮し、引き続き検討していく。	
	3	案内・誘導	①B ②A	①整備済み ②対応済み		平成24年度に中央・東改札構内案内板・点字運賃表設置
	4	券売機	C	整備済み		平成20年度に西(地上)改札口、平成24年に東改札口の券売機蹴込み整備
	5	改札口	A	整備済み		
	6	エレベーター	①A ②B	①整備済み ②整備済み		
	7	階段	A	①整備済み ②整備済み		②平成17年度に地上改札口から地下鉄御堂筋線改札口への連絡階段の踏面端部が容易に識別できるよう改善 平成24年度に階段手摺水平部設置
	8	ホームにおける列車の案内	B	整備済み		
	9	車両とホームとの隙間・段差	①C ②A	①検討中 ②配備済み	①車両とホームとの段差縮小については現在検討中。	
	10	ホームにおける安全対策	①A ②B ③B	①整備済み ②整備済み ③整備済み		②平成20年度にホーム内方線整備 ①②平成24年度に内方線付き警告ブロックJIS規格化 ①平成26年度にホーム先端注意喚起ライン整備 平成30年度 3,4番線ホーム昇降ロープ式ホーム柵設置
	11	トイレ	①A ②B	①整備済み ②整備済み		平成15年度に既設車いす対応トイレを多機能トイレ化
鉄道車両	12	車いすスペースの確保	B	301/549編成に設置	(新造)特急車両は1編成に3ヶ所、通勤車両は1両に1ヶ所設置しており、今後も引続き設置していく。 (既存)バリアフリー化工事により順次設置しており、今後も引続き設置していく。	
	13	行先等の案内表示装置	B	950/1877両に設置	(新造)特急車両は1両に2ヶ所、通勤車両は1両に4ヶ所設置しており、今後も引続き設置していく。 (既存)バリアフリー化工事により順次設置しており、今後も引続き設置していく。	
	14	車両間の転落防止装置	B	1877両全車に設置	(新造)特急車両・通勤車両とも中間連結部に外ほろ、先頭車両に音声警告装置を設置しており、今後は車両先頭部への転落防止ほろの設置を進める。 (既存)中間連結部の外ほろ設置は全車完了している。さらに車両先頭部への音声警告装置と転落防止ほろの設置を進めていく。	

【3. 整備目標時期】

時期A 平成22年までに完了

時期B 平成22年までに完了は困難であるが、平成22年までに着手することを目標とし、可能な限り早期の完了をめざすもの。

時期C 現在の技術水準や開発動向ならびに既存設備の更新時期等を勘案した場合、平成22年以降に着手することを目標とし、今後引き続き検討を進めていくもの。

○ この公共交通特定事業計画は、大阪市が独自の様式を定めたうえで各鉄道事業者等に提出を求め、ホームページ用に編集しています。

○ 昨年末時点から変更した内容は赤字で記載しています。

公共交通特定事業計画(駅舎、鉄道車両)

【特定旅客施設名:御堂筋線 天王寺駅】

【事業者名:大阪市高速電気軌道株式会社】

令和5年3月末現在

No	1. 整備項目	2. 整備内容	3. 整備目標時期	4. 現時点での整備状況	5. 今後の予定【着工予定、工期等】 (整備が完了していない場合のみ記入)	6. 基本構想策定後に実施した整備内容
駅舎	1	視覚障がい者誘導用ブロック	A	整備済み	但し、JIS適合品では無い。(床改修等の機会を捉えてJIS化に取り組んでいる。)	平成17年度にトイレ前まで敷設
	2	音案内	B	トイレ前・地上出入口については整備済み	改札口やホーム階段部に整備を行う。	・平成25年度に改札口、ホーム上、エレベーター前に音声、音響案内機器を設置して実証実験を実施
	3	案内・誘導	①B ②A	①整備済み ②対応済み		①改修済み
	4	券売機	C	整備済み		車いす使用者に配慮した蹴込みの構造等の検討。それ以外の細部の仕様は更新時期等に合わせ整備に努める
	5	改札口	A	整備済み		
	6	エレベーター	①A ②B	①整備済み ②公共用通路に接続することにより確保。		②平成18、19年度に谷町線への乗り換えエレベーターを整備済み ②平成23年度に谷町線への乗り換えエレベーターを整備済み ②平成25年度にJR線の乗り換え、歩道橋連絡エレベーターを整備済み
	7	階段	A	①整備済み ②整備済み		②については平成23年度整備完了
	8	ホームにおける列車の案内	B	整備済み		
	9	車両とホームとの隙間・段差	①C ②A	①整備済み ②配備済み		平成26年度末にホーム床の改造により段差・隙間を縮小済み
	10	ホームにおける安全対策	①A ②B ③B	①②③可動式ホーム柵を整備済み		平成26年度末に可動式ホーム柵を整備済み
	11	トイレ	①A ②B	①整備済み ②整備済み		平成17年度に東中階の車いす対応トイレを多機能化、平成23年度に西中階に多機能トイレを整備済み
鉄道車両	12	車いすスペースの確保	A	41編成全編成に設置		平成22年度に整備済み
	13	行先等の案内表示装置	A	整備済み		平成22年度に整備済み
	14	車両間の転落防止装置	A	平成12年度に整備済み		

【3. 整備目標時期】

時期A 平成22年までに完了

時期B 平成22年までに完了は困難であるが、平成22年までに着手することを目標とし、可能な限り早期の完了をめざすもの。

時期C 現在の技術水準や開発動向ならびに既存設備の更新時期等を勘案した場合、平成22年以降に着手することを目標とし、今後引き続き検討を進めていくもの。

- この公共交通特定事業計画は、大阪市が独自の様式を定めたうえで各鉄道事業者等に提出を求め、ホームページ用に編集しています。
- 昨年度から変更した内容は赤字で記載しています。

公共交通特定事業計画(駅舎、鉄道車両)

【特定旅客施設名: 谷町線 天王寺駅】

【事業者名: 大阪市高速電気軌道株式会社】

令和5年3月末現在

No	1. 整備項目	2. 整備内容	3. 整備目標時期	4. 現時点での整備状況	5. 今後の予定【着工予定、工期等】 (整備が完了していない場合のみ記入)	6. 基本構想策定後に実施した整備内容
駅舎	1	視覚障がい者誘導用ブロック	A	整備済み	但し、JIS適合品では無い。(床改修等の機会を捉えてJIS化に取り組んでいる。)	平成17年度にトイレ前まで敷設
	2	音案内	B	トイレ前・地上出入口については整備済み	改札口やホーム階段部に整備を行う。	・平成25年度に改札口、ホーム上、エレベーター前に音声、音響案内機器を設置して実証実験を実施
	3	案内・誘導	①B ②A	①整備済み ②対応済み		・平成25年度に改札口、ホーム上、エレベーター前に音声、音響案内機器を設置して実証実験を実施
	4	券売機	C	整備済み		車いす使用者に配慮した蹴込みの構造等の検討。それ以外の細部の仕様は更新時期等に合わせ整備に努める
	5	改札口	A	整備済み		
	6	エレベーター	①A ②B	①整備済み ②公共用通路に接続することにより確保。		平成18年度に御堂筋線への乗り換えエレベーターを整備済み
	7	階段	A	①整備済み ②整備済み		
	8	ホームにおける列車の案内	B	整備済み		
	9	車両とホームとの隙間・段差	①C ②A	①検討中 ②配備済み	①については、車両更新時やホーム床改造工事に伴い対応の予定	
	10	ホームにおける安全対策	①A ②B ③B	①整備済み ②整備済み ③整備済み		②および③については平成17年度末に整備済み
	11	トイレ	①A ②B	①整備済み ②整備済み		②平成21年度に車いす対応トイレを多機能化
鉄道車両	12	車いすスペースの確保	A	40編成全編成に設置		平成18年度に整備済み
	13	行先等の案内表示装置	B	整備済み		平成25年度に整備済み
	14	車両間の転落防止装置	A	平成13年度に整備済み		

【3. 整備目標時期】

時期A 平成22年までに完了

時期B 平成22年までに完了は困難であるが、平成22年までに着手することを目標とし、可能な限り早期の完了をめざすもの。

時期C 現在の技術水準や開発動向ならびに既存設備の更新時期等を勘案した場合、平成22年以降に着手することを目標とし、今後引き続き検討を進めていくもの。

○ この公共交通特定事業計画は、大阪市が独自の様式を定めたうえで各鉄道事業者等に提出を求め、ホームページ用に編集しています。

○ 昨年度から変更した内容は赤字で記載しています。